

大阪大学未来共生セミナー

「大学院での学びを社会でどう活かすか ～大学院修了後のキャリアパスを考える～」

[対象:リーディング大学院生・大学院生・大学院進学を考えている学生]

大阪大学未来戦略機構第五部門(REPECT:未来共生イノベーター博士課程プログラム)では、「大学院での学びを社会でどう活かすか」と題する講演会を開催します。

未来共生プログラムを始めとするリーディング大学院では、研究と並行して様々な現場経験を積むことが特色とされています。大学院まで進んだ学生にはどんなことが社会から期待されており、みなさんの研究・現場経験の両方の経験からはどのようなキャリアが期待できるのでしょうか。

これらを考える機会として、公益に関わる会社・NPOを立ち上げ新しい分野を新しい発想で開拓しながら、多様化する社会に対して何が必要かを考えているお二人にお話を伺います。

【当日プログラム】

開会挨拶・主旨説明

森栗 茂一 大阪大学教授
COデザインセンター

日時: 2017年11月20日(月) 15:00-18:00(開場 14:30-)

会場: 大阪大学 豊中キャンパス 文理融合型研究棟6階
共通講義室1

15:00～16:00【講演①】

村瀬 茂高 氏

WILLER 株式会社 代表取締役

16:00～17:00【講演②】

田村 太郎 氏

(一財)ダイバーシティ研究所
代表理事、復興庁復興推進参与

17:00～18:00【対談・質疑応答】

閉会挨拶

河村倫哉 大阪大学大学院

国際公共政策研究科准教授

(18:00 閉会)



(村瀬 茂高 氏)



(田村 太郎氏)

【講師略歴】

村瀬 茂高氏 名古屋生まれ。94年に現WILLER(株)を大阪にて起業。2005年に国内最大級の高速バス予約サービスを提供する楽天バスサービス(株)を立ち上げる。2006年より顧客インサイトをもとにした高速バス「WILLER EXPRESS」の運行を開始。「ピンクのバス」で新たな移動の市場を創造する。2015年には上限分離方式による京都丹後鉄道の運行を開始。鉄道を軸とした地域創生を進めている。2016年からは台湾、ベトナム、欧州で、安全・安心で快適なジャパン・クオリティの移動事業をグローバルに展開している。

田村 太郎 氏 伊丹市生まれ。95年に設立された「多文化共生センター」で事務局長に就任。2006年より特定非営利法人多文化共生センター大阪代表理事。2007年には「ダイバーシティ研究所」を設立、人の多様性への配慮がある地域や社会をめざす活動にも取り組む。現在、復興庁復興推進参与を兼任。

申込フォームリンク: <https://goo.g/forms/SFkpiWM2KRts5oea2>(リンクは未来共生HPおよびFB上の本企画案内上にもあります)

締切: 2017年11月16日(木) * 定員になり次第締め切ります。問い合わせ: 田川千尋(未来共生イノベーター博士課程プログラム・特任助教) tagawa.chihiro***respect.osaka-u.ac.jp(***を@に変えてください)

